

NPO 法人 ピンクリボンながさき便り

第 7 号

2015年2月1日発行
(年2回発行)

新年のご挨拶 理事長 内海文子

新年あけましておめでとうございます。

2015年元旦は長崎では珍しく雪が降りました。寒い中を初詣におでかけの方も多かったことでしょう。世界中で気候の変動が激しく、日本でも北海道や東北地方の寒冷や積雪、猛吹雪が頻繁におこり、“今まで体験したことがない”と気象庁が表現するほどです。これらの現象は現代人の自然との付き合い方に由来するものだといわれ、日々の生活のありかたを再考する必要があるそうです。

今年、ピンクリボンながさきはNPO法人となって10年目を迎えました。昨年9月長崎市民会館で「ピンクリボンフェスタ」を開催し、これまで長崎県内で開催してきたフェスタを一旦終了することになりました。また、事務所の移転という大きな変化もありました。2015年からは、講演やイベント等を中心に活動していきたいと思います。今後の活動に対しては皆様からのご意見をお寄せいただきたいと存じます。(別紙、臨時総会報告書に今後の計画をあげています。)

2015年は大きな医療革命が始まるという未来予測が(2015年1月3日NHKニュースワールド)出ていました。NMNという成分は「長寿」に関係する「サーチュイン遺伝子」を活性化させ、人間の若返りを実現させるということです。現在はまだ治験の段階ですが実用化されれば、30年後には日本人の平均寿命は100歳になるといわれています。また、がん患者から得た膨大なデータを解析し、遺伝子の変異パターンを分類する研究が世界中で進んでおり、その一つに、がんゲノムを分析する国際的なプロジェクト「国際がんゲノムコンソーシアム」があります。超高性能コンピューターを使った解析で、肝臓が

んの変異のパターンは1万5000種類あることが判明したといわれ、がんの全貌が見えてきたことで、がん研究は「新しい治療法の開発」というステージに突入したといわれています。

NPO法人ピンクリボンながさきも、健康生活を志向できるよう「第一次予防」「第二次予防」をめざして、乳がん検診率50%の夢に向かって進んでいきます。

ミニ知識講座

がん哲学外来

順天堂大学医学部教授、樋野興夫(ひのおきお)さんが、東京を拠点に、全国でがん哲学外来を開いている。カフェ形式で無料である。これまで、1500人の患者が外来を訪れた。ここで、処方するのは「言葉の処方箋」である。悩めるがん患者に力を与える言葉を処方する。

「天寿がん」天寿を全うしてがんで死ぬ、がんがあっても共存していく、人間は永遠にいきいたい、しかし、がん細胞も永遠にいきいたいのである。がんになっても尊厳をもって生きようと・・・

言葉の処方箋を受けた、胃がんで余命1年を宣告された50代の男性は、「残された時間をどう生きればいいのか？」を考え、「人のためになることをしたいなあ～自分らしく花を咲かせる」ためにと、「葉っぱのフレディ」の朗読を始めた。病気であっても病人ではないという生き方を追求するために。

<2014年10月5日、日本テレビで放送された「がん哲学外来」について紹介した>

ピンクリボンフェスタ ながさき2014(報告)

開催日：平成26年9月21日（日）

時 間：10:30～15:30

場 所：長崎市民会館

来場者数：330名

（一般参加者 220 名＋ボランティア 110 名）

NPO法人ピンクリボンながさきは、これまで長崎県下の各市でピンクリボンフェスタを開催してきました。今回で 10 回目となりこれまでの集大成としてのフェスタを行うという意欲で、「ピンクリボンフェスタ2014 ながさき」を開催しました。このフェスタに対して、長崎市が会場等の予算確保していただき、長崎市民会館という大きな施設で開催することができましたことは感謝に絶えません。

長崎市市民局市民健康部健康づくり課と 1 年半をかけて、フェスタの準備を進めてきました。お互いに協力関係を築くことができ、スムーズに展開できたことはよかったと思います。しかし、毎月の打ち合わせ等負担が大きい面もありました。

当初の企画通り実行委員会が設置できなかったため、案内・連絡などに相当な作業時間と費用がかかりました。当日のボランティアの活動も、運営マニュアルに記載していることを理解して自主的に活動してもらいましたが、一部不十分な動きしかできない部署もありました。また、長崎市民会館は会場としては大きすぎて、講演やコンサートを行った文化ホールとブース展示会場が離れており一体感が薄れた印象をもちました。

当日ボランティアとして、各組織から 110 名もの方々に参加していただき、医師・看護師はもとより放射線技師・検査技師など、職種を超えた医療従事者の方々が、乳がん早期発見活動への理解と共感する姿勢をもっていただいていることがわかり、大変嬉しいことです。

田上長崎市長さんをご挨拶に来ていただいたことで、フェスタが盛り上がりました。また、長崎市の広報誌をみて、マンモグラフィ無料検診に 20 名以上の応募がありましたの



で、広報誌による告知は効果的でした。リーフレットを 1 万枚印刷して配布しましたが、フェスタ開催自体を知らなかったという声も多くきかれました。地域の自治会等を通じて、回覧などをしてもらえばよかったと思います。

ピンクリボンフェスタは多額の経費がかかることもあり、今後は費用対効果も考えて、乳がん早期発見活動の方法を再検討していく必要があります。



～乳がん体験者の声～



美容室「美B4℃」

住所：長崎市中町2-20

電話：095-828-7667

藤田つたえさんのご紹介

藤田さんは、美容室「美B4℃」読み方は、「びよんど」でメディカルウィッグの店と話せるサロンを運営している。店の名前は英語 Beyond（日本語の意味：かけはし）からきている。元気な人と病気の人との架け橋になりたいと思い名づけた。

20年以上前に、乳がんになり、抗がん剤治療もおこなった。叔母さんが乳がんて48歳でなくなった。お母さんが3人の娘に乳がん検診をするよう勧めてくれた。その時、もうすでに胸にしこりがあったが病院には行きたくなかった。乳がんと言われるのが怖くて！手術をおえて、抗がん剤治療をうけた。その後、お父さんもがんになり在宅で看病をして最後をみとった。

がん患者としての経験とがん患者の家族としての経験から、いまがんを患っている人やそのご家族の気持ちに近づくことができるのではないかと思います、12年前からサロン（四葉のクローバー：がん患者と家族の会）を行っている。

お店を訪れる患者さんは、乳がんや子宮がん、卵巣がんなどで抗がん剤による脱毛がある方々である。ウィッグを買ってもらい、それで終わりというのではなく、約2年間のお付

き合いになる。髪の毛だけでなく、様々な悩みをお話しされる。傾聴することしかできないが、自らの過去の体験を通してお聴きすることができるので、気持ちがわかりあえることも多いおひとりおひとりと2年間の濃い付き合いができることが、喜びである。

がん患者は、心も体も病んでいることも多いので、ご家族が元気づけてくれることが空虚な言葉に聞こえることもある。気持ちのすれ違いが生じ、家族も減入ってしまう。ちょっとしたアドバイスで、ご家族の関係が楽になることもある。お店にきて3時間くらい話をされてお帰りになる方もおられる。

抗がん剤治療も外来通院が多くなり、副作用や再発の悩みで苦しむがん患者も多い。病院の外来では話ができない。患者同士が触れ合い、ゆっくりと話し合う場が必要である。

「話せるサロン」では、普段着でできていただき、本当の気持ちを出していただけるように心がけている。ブログに書くときも、苦しいことや悪いことはできるだけ書かない。こうやってこの問題は卒業しましたよと……。治療中も心のおき方が大事と思っている。サロンには緩和ケアのドクターや看護師や心理療法士など参加される。専門家との橋渡しができることも喜びである。

2014年9月に長崎市民病院で開催された、ピンクリボンフェスタに参加した。ピンクリボン運動の趣旨が早期発見のための検診であるが、一般の方はがんの対する意識が低いので、受診率が上がらないのも仕方がないと思った。関心の低い一般の人への浸透ができていない。フェスタを大々的に行うだけでなく、地道に講演活動とか。子どものいるお母さんに乳がん早期発見への発信をしてほしい。

（上記の記事は、藤田さんへのインタビューをもとに、再構成したものである。）

イベント案内



■「稲佐山」ライトアップ

期 日：平成 26 年 10 月 11 日(土)
 ～11 月 3 日(月)
 場 所：稲佐山電波塔（長崎市）
 内 容：長崎市や経済団体などで行く「長崎夜景プロモーション実行委員会」の「2014 光のおもてなし事業」に参加した。ライトアップは 18:00～23:00、木曜日はピンク色のライトを終日点灯した。



■ 事務所移転

2014 年 11 月 1 日より事務所を移転しました。
 〒854-0063
 長崎県諫早市貝津町 1124
 宇賀外科医院内
 ※電話、FAX、E-mail は変更ありません。

■「国際ソロプチミスト」チャリティコンサート

期 日：平成 26 年 11 月 7 日(金)16:00～18:00
 場 所：諫早文化会館（諫早市）
 参加者：500 名
 内 容：国際ソロプチミスト諫早認証 30 周年記念チャリティコンサートに協賛し寄附を募る。ブース出展、①パネル展示、②乳房モデルにて自己検診法の指導。



■「友愛社会館幼稚園」セミナー

期 日：平成 26 年 11 月 19 日(水)10:00～11:30
 場 所：友愛社会館幼稚園（長崎市）
 参加者：保護者 45 名
 内 容：女性のがん予防について。講演（パワーポイント使用）、乳房モデルによる乳がん自己検診について、自己検診法のデモンストレーション。



Information

会員の皆さまへ

- 会員の皆様からご意見や記事を募集しています。
- 賛助会員を募集しています。
 寄附 1000 円以上をお寄せいただいた方には、ピンクリボンながさきのピンを差し上げております。



家族愛、乳房愛、夫婦愛の3色を表しています。その3色で中央がハート形になって愛を表しています。

ピンクリボンながさきのバッジ

編集後記

ピンクリボンながさきの活動を分かりやすくお伝えできるよう、写真などを多く取り入れた紙面づくりをいたしました。ご意見があればお寄せ下さい。



マンモグラフィ検診を受けましょう
 ～あなたとあなたの家族のために～

NPO 法人
 ピンクリボンながさき

〒854-0063
 長崎県諫早市貝津町 1124
 宇賀外科医院内
 TEL・FAX：0957-47-8595
 メール：n-pinkribbon@oboe.ocn.ne.jp
 URL：http://pinkribbon-nagasaki.jp/